

グリーン購入 まめ知識 vol.1

Q グリーン購入は出費増になるか？

答 出費が減った企業の方が多い。

グリーン購入ネットワーク（全国）が毎年実施している「グリーン購入アンケート」から、企業・団体のグリーン購入の実際の姿を知ることができます。2000年実施の第5回アンケート（有効回答988団体）は、特に価格について尋ねたものになっていますが、それによると、調査した8分野のうち、パソコン、コピー・プリンター、OA用紙、文具、印刷用紙、オフィス家具の6分野で、「従来品より安い」「同等」という回答が半数を越えました（半数以上「高い」は自動車と制服）。

このアンケートでは、グリーン購入に熱心な企業・団体ほど、より多く「コスト削減につながった」と回答しています。グリーン購入の取り組み動機が「コスト削減につながる」と答えた企業も11%ありました。グリーン購入法の施行後、環境配慮商品の市場が広がり、さらに価格が下がりがつあり、企業のコスト削減に拍車をかけそうです。

京都グリーン購入ネットワーク 会員一覧 (2005年3月現在 88団体)

企業	京都ゼロックス (株) (株) 京都放送 (株) 京都ホテル (株) アヴェニール 京都リコー (株) 協和電線産業 (株) 旭リスター (株) 浅見商工 (株) 旭興産業 (株) (株) アトミックバイオ (有) ケイ・イー・ケイ アソシエイツ (株) KDS 石崎産業株式会社 京都写真印刷 (株) (株) イセト 伊藤文祥堂 (株) ウィンタス (株) 上田屋 (有) 太田商店 (株) 大塚商会 京都支店 オリオン (株) (株) 川島織物 川原 (株) 環境技研株式会社 京つけもの西利 京都機械工具 (株)	京都ゼロックス (株) (株) 京都放送 (株) 京都ホテル (株) アヴェニール 京都リコー (株) 協和電線産業 (株) 旭リスター (株) 浅見商工 (株) 旭興産業 (株) (株) アトミックバイオ (有) ケイ・イー・ケイ アソシエイツ (株) KDS 石崎産業株式会社 京都写真印刷 (株) (株) イセト 伊藤文祥堂 (株) ウィンタス (株) 上田屋 (有) 太田商店 (株) 大塚商会 京都支店 オリオン (株) (株) 川島織物 川原 (株) 環境技研株式会社 京つけもの西利 京都機械工具 (株)	西村新商店 日本新業 (株) 日本紙工 (株) 日本写真印刷 (株) (株) 花久 (株) 光テクマ (有) ひのでエコライフ研究所 平安リネン工業 (株) ホームケルン (株) 堀場製作所 (株) (株) 松田洋紙店 (株) 村田製作所 ムラテック販売 (株) 八木 (株) 旅館 こうろ ローム (株)	京都府 園部町 長岡京市 舞鶴市 八木町	京都府中小企業団体中央会 大学生協京都事業連合	個人会員 京都大学大学院経済学研究科 教授 ----- 植田 和弘氏	団体 (特非) 環境市民 (特非) 木野環境 京都生活協同組合 学校法人 京都精華大学 コープ・イン・京都 (特非) コンシューマーズ京都 (特非) 日本エコロベース協会 京エコロジーセンター 京のアジェンダ21フォーラム (社) 京都工業会 京都商工会議所 京都商店連盟 京都府商工会連合会 京都府生活協同組合連合会	環境事務所 税理士・社会保険労務士 ----- 園場 淳氏	環境市民会員 ----- 久保 浩氏	京都・雨水の会代表/環境市民理事 ----- 上田 正幸氏 ----- 堀田 美智子氏	NPO法人京都消費生活有資格者の会、他 ----- 平井 美枝氏 ----- 木村 智氏
-----------	--	--	--	----------------------------------	----------------------------	---	--	----------------------------------	-----------------------	---	--

京都グリーン購入ネットワーク ニュース



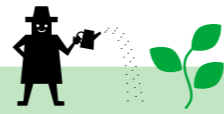
京都GPN-news vol.1

祝 2005 **2.16** 世界が注目!
地球温暖化防止条約
京都議定書発効!

CONTENTS

- 京都グリーン購入ネットワーク誕生! ----- P.1
- 設立のごあいさつ/役員紹介 ----- P.2
- 研究会・イベントのお知らせ/学習会・研究会の報告 --- P.3
- グリーン購入まめ知識/会員一覧/スタッフ紹介 --- P.4

2004年11月22日 \ 京都の自治体、事業者、市民もがんばるぞ! / 京都グリーン購入ネットワーク誕生!



京都GPN 3つの目的

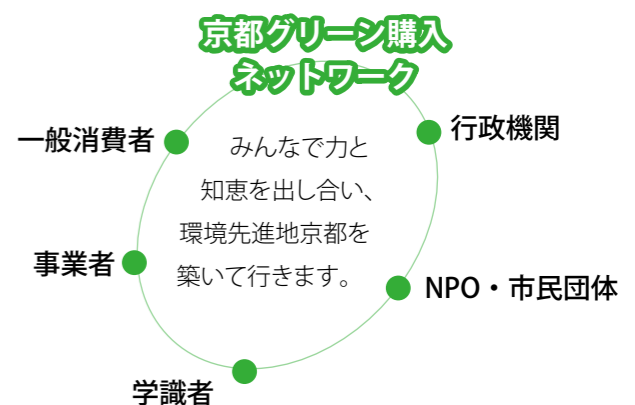
- 1 環境に優しい商品・サービスを京都府内に普及し、グリーン市場を拡大します。
- 2 グリーン購入に取り組む消費者・事業者・行政の情報交換と活動促進の場とする。
- 3 京都府内で環境に優しい商品・サービスを提供している事業者の活動を促進する。

? グリーン購入ってなに? どんな効果があるの?

商品やサービスを購入するときに、まず購入の必要性を考え、環境への負荷が出来るだけ小さなものを選んで購入することです。職場でも家庭でも、商品やサービスを購入する機会は多くあります。その購入にあたって、環境に配慮するグリーン購入は誰でも身近に取り組める地球環境保全の取り組みです。

? グリーン購入ネットワークって、どんなネットワーク?

グリーン購入が普及すれば、環境配慮型製品のマーケットが広がり、企業に環境への負荷が少ない製品の開発や販売を促すこととなります。特に、行政機関や企業などの大口購入者がグリーン購入を勧めることによって、グリーン製品の価格を下げることになり、さらに環境にやさしい商品、サービスが身近になります。



事務局長
NPO法人環境市民
堀 孝弘
---ほり・たかひろ---

環境市民では、グリーンコンシューマー（緑の消費者）を広める活動に力を入れてきました。営業マン、流通企業職員、大学職員、大学講師などの経歴があります。

理事
NPO法人環境市民
下村 委津子
---しもむら・いづみこ---

フリーランスアナウンサーとしての立場も活かして情報発信や広報活動にも力を入れていきたい。アナウンサーのような(?) 声で電話にです。気軽にお電話下さい。

事務局のご紹介
NPO法人環境市民
京都グリーン購入ネットワークの事務局を担当しています。全国のグリーン購入ネットワーク発足時からの会員で、全国ネットの代表理事も輩出しています。秋本育生。2004年には「グリーン購入大賞・環境大臣賞」を受賞。
<http://www.kankyoshimin.org>

事務局長
NPO法人環境市民
有川 真理子
---ありかわ・まりこ---

環境市民では、ラジオ、会員誌、HP など広報関連に従事。NPO、企業経験をいかし、つくる人、売る人、そして、お買い物好きな私としては、買う人としても! グリーン市場拡大の一助になりたいと思っています。

お問い合わせ **京都グリーン購入ネットワーク事務局**

【TEL】 075-241-4664 (FAX同じ)
【E-mail】 kgpn@dolphin.ocn.ne.jp
【URL】 <http://www.k-gpn.org>

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る 呉波ビル3階
特定非営利法人 環境市民 内

京都グリーン購入ネットワーク

グリーン購入の普及を通じて、京都のものづくりや人々の暮らしが、より環境に配慮されたものになるよう働きかけていくネットワークです。
《京都グリーン購入ネットワーク事務局へのご連絡先は4Pをご覧ください》

京都グリーン購入ネットワーク・設立のご挨拶

グリーン購入と市場の再設計： グリーン購入京都発足に寄せて



京都グリーン購入ネットワーク代表幹事
京都大学院経済学研究科 教授
植田 和弘

2005年2月16日、京都議定書が発効した。今後温室効果ガス削減政策も本格化していくであろう。議定書のまち、京都からも積極的な取り組みをしていきたいものである。

グリーン購入は、環境問題に対して抜本的技術革新のように劇的ではないが、影響や効果の広さと大きさからみれば、決定的に重要であるといえるかもしれない。なぜなら、グリーン購入は市場を根本的につくり直す可能性があるからである。

グリーン購入は、市場の構成員である消費者が、より環境に配慮した商品を求めることから出発する。しかし、人々や企業が環境配慮を意識するようになれば、直ちにグリーン購入が進むかといえば、そう簡単なものではない。まずグリーン購入の対象となる商品とは何かが意外と難しい。環境によいとはどういうことが明確にされる必要があるし、個々の商品について環境配慮度がわからなければならない。選択する側の消費者が選択権を行使できる情報がわかりやすく提示されている必要がある。そして、その情報を活用して環境に良い商品を実際を選択する“ほんものの消費者”が出現しなければならない。

“ほんものの消費者”は、環境に良い商品が提供する“ほんものの生産者”が現れなければ、空回りになってしまう。言い換えればグリーン購入が進むということは、消費者から生産者へ、そしてまた消費者へといった回路を通じて、より環境に配慮した商品が認知・拡大されていくことである。そこでの市場は環境情報の共有とコミュニケーションを媒介に、“ほんものの生産者”と“ほんものの消費者”が育ち、出会う場となるのである。

議定書のまちから、グリーン購入を花開かせたい。皆様のご協力をお願いする次第である。

設立までの流れ～

- 2001年9月**
京都府域でのグリーン購入地域ネットワークの必要性を初めて議論。京都府、京都市、京都工業会、環境市民が出席。
- 2004年2月**
関係者による設立に向けた打合せ会議、設立準備会等の開催（設立まで7回開催）。
- 2004年11月**
京都グリーン購入ネットワーク設立。

全国でのグリーン購入の発展～

- 1996年2月**
グリーン購入ネットワーク（全国GPN）設立（発足時の団体数73→2005年1月2,876団体）
- 1996年12月**
「グリーン購入のための購入ガイドライン」策定以降、分野を拡大、現在16分野
- 1998年**
第1回グリーン購入大賞選定（以降毎年実施）
- 1999年12月**
滋賀グリーン購入ネットワーク設立以降、三重、宮城でも地域ネット設立
- 2001年4月**
グリーン購入法施行
国、国に準ずる機関に環境配慮商品の調達義務
- 2004年10月**
第1回グリーン購入世界会議 仙台で開催

96
98
99
01
04

HISTORY

役員紹介 任期：平成16年11月22日～平成19年3月31日 (※五十音順 敬称略)

- 【代表幹事】**
植田 和弘 京都大学大学院経済学研究科 教授
- 【副代表幹事】**
杵本 育生 特定非営利活動法人環境市民 代表理事
- 【常任幹事】**
伊東 真吾 有限会社ひのでやエコライフ研究所
岡田 憲和 京都市 環境局環境政策部地球環境政策課長
齋藤 友宣 特定非営利活動法人木野環境 代表理事
高橋 伸年 コクヨ近畿販売株式会社 ソリューション営業本部営業第2部長
津村 昭夫 社団法人京都工業会 理事・業務推進役
長崎 憲二 京都府 企画環境部循環型社会推進課長
西田 敏光 京都商工会議所 産業振興部都市整備担当課長
- 【幹事】**
荒川 佳夫 京のアジェンダ21フォーラムKES 認証事業部アシスタントコーディネーター
上田 正幸 京都・雨水の会 代表
大瀬 潤三 株式会社島津製作所 環境・安全推進室長
大西 敏彦 京都府商工会連合会 経営支援部経営支援課長
大橋 修一 亀岡市 環境市民部環境政策課長
木村 勇 株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション 環境統括部統括部長
小峰 耕二 京都府生活協同組合連合会 専務理事
酒井 克彦 大学生協京都事業連合 専務理事
西村 良平 八木町まちづくり推進課長
庭田 益己 株式会社村田製作所 環境管理部長
橋本 和基 株式会社川島織物 人事総務部長
長谷川 昭 長岡京市 環境経済部環境政策推進課長
山本 克実 木津町 民生部環境課長

- 【会計監事】**
國場 淳 税理士
原 強 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長
- 【事務局長】**
堀 孝弘 特定非営利活動法人環境市民 事務局長
- 【アドバイザー】**
郡 篤孝 同志社大学経済学部教授
高月 紘 京都大学教授/京都大学環境保全センター長 (2005年4月より石川県立大学 教授)
森 孝之 大垣女子短期大学前学長



常任幹事 **津村 昭夫氏**
(社)京都工業会 理事

「モノを買う（その反面としてモノを売る）」という私達の社会システムでは、ごく日常的な行為の中で「環境を意識することが出来ます。そこで、「環境にやさしいモノを買う」ことを奨めることによって「環境にやさしいモノが売れる」仕組みとして、京都の特色を味付けした「グリーン購入ネットワーク」づくりに尽くしたいと考えています。

研究会・イベントのお知らせ INFORMATION

第3回環境ラベル研究会

「エコマークについて」

日時：2005年3月29日（火）午後1時30分～3時30分
場所：京都商工会議所 第4教室
講師：田口 整司氏
財団法人日本環境協会エコマーク事務局 事務局長

内容：国内でもっともよく知られている「エコマーク」について、その創設プロセスや、目的、効果、仕組み、そして課題や今後の方向性についてお話いただきます。環境配慮商品の今後の普及について、おおいに示唆が得られるものと思います。

京都グリーン購入ネットワーク主催～

京都グリーン購入ネットワーク設立記念イベント

「来て見て聞いて！京都の環境最前線！
祝！京都議定書発効！京都の企業、自治体もがんばるぞ」

日時：2005年3月20日 午後1時～4時
場所：アートコンプレックス 1928 3Fホール
京都市中京区三条御幸町・東南角

京都グリーン購入ネットワークの設立を記念し、設立イベントを行います。グリーン購入の意義を紹介し、京都の自治体や企業が環境への取り組みを発表、環境を大切に思う市民、企業、行政が交流する場といたします。これから府内にグリーン市場を広げていくためのキックオフイベントにもなりますのでぜひご参加下さい。

問合せ先：京都グリーン購入ネットワーク事務局
(電話 075 - 241 - 4664)

内容：

1) ごあいさつと講演～

『京都議定書を実行あるものに
京都には「グリーン購入」がもっと必要』

京都グリーン購入ネットワーク事務局長 堀 孝弘

2) 府内団体からの活動事例紹介～(発表順)

- 京都市
- 京都市
- 京都府立北稜高等学校
- 株式会社京都ホテル
- 株式会社村田製作所
- 学生団体の発表（予定）
- 株式会社川島織物
- 医療法人社団恵心会京都武田病院
- コクヨ近畿販売株式会社

各部会のご紹介

下記のような部会の活動を通して、会員自らが主体的に活動を行っていきます。

広報コミュニケーション

パンフレットやホームページなど
様々な媒体を通じた広報活動を行います。

普及・啓発

購買担当者や一般消費者などへ、
グリーン購入の理解を深めるためのセミナーの企画、実施を行います。

研究会

環境ラベルについての研究や京都
ならではの伝統産業も視野に入れた「京都独自のグリーン購入ガイドライン」の策定などを行います。

報告 & レポート

学習会



第1回学習会 「滋賀におけるグリーン購入の取り組みについて」

2005年2月10日 @ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）

講師：小川 長利氏

滋賀グリーン購入ネットワーク幹事
滋賀県出納局管理課 エコオフィス担当 主幹

グリーン購入を組織の中で実践していくための方針、システムづくり、人づくりのポイントなどについて滋賀県の先進的な取り組みを通してお話いただきました。物品の有効利用を徹底するための「グリーン購入広場」(HP)の開設や、グリーン購入に取り組み業者を優先させていく「グリーン入札」の構想などの具体例が紹介され、今後の取り組みにおおいに参考となる学習会となりました。

第2回学習会 「グリーン購入、グリーン購入ネットワークの基礎」

2005年2月25日 @ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）

講師：佐藤 博之氏

グリーン購入ネットワーク事務局 事務局長

グリーン購入の意義や役割、その考え方や対象としている商品分野、グリーン購入法について、また、グリーン購入ネットワークについてご紹介いただきました。グリーン購入を実践していくため大前提となる概念を理解するための重要な学習会となりました。

研究会



第1回研究会 「環境ラベルとは」

2005年2月18日 @ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）

講師：佐藤 博之氏

グリーン購入ネットワーク事務局 事務局長

国内外の事例を通して、環境ラベルの概念や目的、効果、種類、今後の可能性についてお話いただきました。特に、環境コミュニケーションの観点から、実際にどういったラベルの表示が望ましいかなど比較実験の結果もご報告いただき、今後のラベルづくりに重要なポイントを学ぶ機会となりました。

第2回研究会

2005年3月4日 @ウイングス京都（京都市女性総合センター）

講師：伊藤 真吾氏

(有)ひのでやエコライフ研究所
京都省エネラベル協議会事務局長

市民が考案し、今や全国に広まりつつある京都発の省エネ家電ラベルの目的や効果、他地域に広がったプロセス、また、市民の認知度を上げるためにどのような取り組みをしているかなどについてお話いただきました。また、今後ニーズが考えられる環境ラベルの方向性などについても示唆いただき、参加者を交えて、京都 GPN の環境ラベルを通じた取り組みのあり方などについて議論しました。